

# みてわかる! jQuery入門

山田 祥寛

## JavaScriptライブラリの本命

「jQuery」(ジェイ・クエリー)は、John Resig氏が開発したJavaScriptの軽量ライブラリです。「Write Less, Do More (もっとシンプルに、もっとたくさんのごこと)」がモットーで、これまで複雑なJavaScriptを使わないとできなかったリッチな効果を簡単に生み出せます。本特集は、前半でまずjQueryの基本を解説した後、後半でリッチな効果を生み出すプラグインを紹介します。

jQueryはその手軽さから、JavaScriptライブラリとしては後発であったものの、急速にユーザー数を伸ばしました。世界の上位100万サイトの実に過半数\*がjQueryを利用して

います。今やJavaScriptでの開発にjQueryは欠かせなくなったといえるでしょう。表1は人気の要因を挙げたものです。特に最後のプラグインは大事です。世界中のいたるところでプラグインが提供され、目的特化した機能が何千種類というボリュームで提供されています。リッチな効果を簡単に生み出すことができるのは、こうしたプラグインがあるからだといえます。

表1●人気の理由

・基本的なHTMLページの操作からAjax機能、エフェクト操作、組み込みオブジェクトの拡張など、おおよそJavaScriptによるコーディング全般を幅広くサポート
・機能のすべてがjQueryオブジェクトに集約されているので、習得がカンタン
・サイズはわずかに30KB程度と、とても軽量
・Internet Explorer 6、Firefox 2、Chrome、Safari 3、Opera 9以降をサポートし、現存するほぼすべてのブラウザをサポート
・jQueryをベースに開発されたプラグイン(拡張ライブラリ)が豊富

図1●ダウンロードパッケージはPRODUCTION、DEVELOPMENTから選択



山田 祥寛 (YAMADA, Yoshihiro)



千葉県鎌ヶ谷市在住のライター。先日、家族で茨城の大洗水族館(関東で一番大きいんですね)に行ってきました。当日はあいにく雨でしたが、夏休み後半の日曜日ということもあって、家族連れでかなりの賑わい。魚にはあまり興味がなかったうちのチビも、ペンギンだけは気に入ったようで30分近く釘づけでした。定員オーバーのため、イルカショーを見られなかったのが心残りです。http://www.wings.msn.to/

### jQueryを準備しよう

jQueryを利用するには、まずjQueryの公式サイト(<http://jquery.com/>)からソースコードをダウンロードしてください(図1)。jQueryのパッケージは、PRODUCTION、DEVELOPMENTという2種類の形式で提供されています。PRODUCTIONは、ソースコードから余計なコメントや空白を取り除いたパッケージです。サイズも小さく、ダウンロード時間も短くて済むので、実運用環境での利用に適しています。一方、DEVELOPMENTは、コメントや空白をそのまま残したパッケージです。サイズは大きいですが、jQueryの中身を確認しながら開発したいという人向けです。

今回は、まずjQueryの基本的な機能を利用できればよいので、PRODUCTION形式を使いましょう。入手したjquery-x.x.x.min.js(x.x.xはバージョン番号)をHTMLから読み込むようにすれば、jQueryの機能を利用できるようになります。

```
<script type="text/javascript" src="libs/jquery-1.6.2.min.js"></script>
```

パスやファイル名は、本誌ダウンロードサイト上のサンプルに沿っています。自分の環境や利用しているバージョンに応じて、適宜読み替えてください。

ではさっそく、jQueryを動かしてみましょう。

最初のサンプルは、条件に合致した画像をアニメーションまくりサイズするというものです。具体的には、HTMLファイル内の「id属性が"list"である要素の配下から、class属性が"recommend"である<img>要素を取り出し、そのサイズを3秒かけて大きくする」という題材です（図2、図3）。

## ポイント1

これは丸暗記！ `$(function () {...});`

まず最初に覚えなければいけないのが、「`$(function () {...});`」というブロックです。jQueryによるコードはすべて、このブロックの配下 (...の部分) に書くのが基本です。

`$(function() {...});` とは、配下のコードを「ページがすべて読み込まれたあとで実行しなさい」という意味です。

`$(document).ready(function(){...});`

と書くこともできます。

この外にコードを書いてしまうと、ページが読み込まれる前に処理が実行されてしまい、正しくコードが動かない場合があるので要注意です。例えば、図4のようなケースでは、操作しようとしている<img>要素がまだ読み込まれていませんので、コードは意図したように動作しません。

図3●図2のソースコード (basic.html)

```
<!DOCTYPE html>
<html>
<head>
<meta charset="UTF-8" />
<title>jQueryの基本</title>
<script type="text/javascript" src="libs/jquery-1.6.2.min.js"></script>
<script type="text/javascript">
$(function(){
  $('#list img.recommend').animate({ width: 150, height: 70 }, 3000);
});
</script>
</head>
<body>
<ul id="list">
<li></li>
<li></li>
<li></li>
<li></li>
<li></li>
</ul></body>
</html>
```

**ポイント1**  
ここは丸暗記！  
jQueryはこの`$(function() {});`  
のブロック内に書く

**ポイント2**  
\$()関数から始まる

**ポイント3**  
\$()の返回值であるjQueryオブジェクトをメソッドで操作

## ポイント2

\$()関数から始まる

jQueryのコードは、「なにを、どうする」で書くのが基本です（図5）。「なにを」を表す\$()関数を理解することはとても大切です。\$()の中には「セクタ」という構文が入ります（表2、図6）。このセクタでHTML内の要素を取り出します。

\*1 BuildWithというサイトの統計 (<http://trends.builtwith.com/javascript>) から、jQuery本体とその拡張ライブラリまでをカウントしている。

図2●条件に合致した画像を3秒かけてリサイズ

